

① 基本事項	計画コード		22027		事業名		公共施設LED化推進事業		評価分類		A1		
	事業手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()										
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上					予算科目目	会計	01:一般会計			
		基本施策	08:脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進と循環型社会の構築						款	02:総務費			
		施策の方向	01:高度な低炭素社会の構築						項	01:総務管理費			
		重点プロジェクト	-						目	03:財政管理費			
事業期間		R 4 年度	～	R 16 年度	主な根拠法令等		地球温暖化対策推進法						
② 事業概要（P）	事業の必要性(経緯・背景等)		事業の対象(誰に、何に対して)			事業の目的(どのような状態にしたいのか)			事業の内容(どのような取組を行うのか)				
	2030年までに国内の全ての照明のLED化を目指す国の動きを受け、各メーカーは蛍光灯器具の生産を中止するなど、脱炭素社会に向けた取組が加速している。また、市では、令和3年度に亀山市地球温暖化防災対策実行計画を策定し、CO2排出量の削減に取り組んでいる。		市公共施設			公共施設の照明をLEDに更新し、省エネルギーを図ることにより、施設の維持管理に伴うCO2排出量やコスト削減を図る。			LED照明への交換による費用対効果が高い公共施設について、3か年において順次LED化を図る。導入手法については、経費負担の平準化等から更新後のメンテナンスも含めたリース契約を採用する。				
③ 事業の実施状況（P・D）	年度		令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度	
	事業計画		○業者選定 ○施設詳細調査、対象施設等決定 ○LED照明への更新作業(初年度分)			○LED照明への更新作業(2年次分) ○リース料支払(初年度分)			○LED照明への更新作業(3年次分) ○リース料支払(初年度・2年次分)			○リース料支払(初年度～3年次分) ○未導入施設への導入方針決定	
	活動実績 (計画通り実施できたか)		事業効果が大きい67の公共施設について、プロポーザル方式により業者選定の上、10年間のリース契約を締結した。初年度は、本庁舎、関支所、道路照明灯の3施設の照明について詳細調査の上、仕様を決定し、更新工事を実施した。			更新を予定していた小中学校や子育て支援施設、消防庁舎など37施設について、計画どおりLED化を図った。また、令和4年度に更新した本庁舎を含む3施設については、初年度分のリース料を支払った。							
	計画額	予算額	事業費			0千円	23,000千円	19,593千円	50,000千円		65,000千円		
			国・県支出金			0千円		0千円					
			地方債			0千円		0千円					
			その他			0千円		0千円					
			一般財源			0千円	23,000千円	19,593千円	50,000千円		65,000千円		
	決算額		事業費			0千円		15,448千円					
			国・県支出金			0千円		0千円					
			地方債			0千円		0千円					
			その他			0千円		0千円					
			一般財源			0千円		15,448千円					
	①期間内計画額(R4-7)		138,000千円			②期間外計画額(R8-)		512,000千円	①+②総計画額		650,000千円		

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	19,593千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	LED照明を導入した施設数(累計)	当該事業により照明のLED化を図った施設数	活動	施設	計画値	3	40	67	67
					実績値	3	40		
	削減されたCO2排出量(累計)	照明のLED化により削減された電力量(推計値)×CO2排出係数	成果	t-CO2	計画値	0	300	1,200	2,500
					実績値	0	389		
					計画値				
					実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A	LED化を行った公共施設については、電気料金の削減額がLED照明器具のリース料を上回り、また、道路照明については、LED照明への更新により将来的な維持管理経費も不要となるなど、大幅な経費削減につなげることができた。また、LED化による使用電力量の削減に伴い、CO2排出量の削減にもつなげることができた。
	十分な成果を得た

事業の対象	事業の目的
市公共施設	公共施設の照明をLEDに更新し、省エネルギー化を図ることにより、施設の維持管理に伴うCO2排出量やコスト削減を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	LED照明への更新作業の最終年次となる令和6年度は、コミュニティセンター、市立医療センターや文化会館等を予定していることから、施設利用への影響が最小限となるよう作業時期等について調整を図る必要がある。また、本事業の対象施設から除外した比較的小規模な公共施設等のLED化についても、今後検討する必要がある。

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性
	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容
	令和6年度で対応する(した)もの 施設利用への影響を踏まえ、更新作業の時期等については、施設管理部署の意見や施設の利用状況を考慮し、全体の更新スケジュールを作成した。
	令和7年度以降で対応するもの 照明のLED化が図られていない公共施設の更新について、当該事業の成果等も踏まえ、事業手法や更新時期等を検討する。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A	A		
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)		

【履歴】

1次評価者	総務財政部 財務課 契約管財GL 堤 大介
最終評価者	総務財政部参事(兼)財務課長 佐藤 康二